

報 道 資 料

令和2年12月24日

医療政策局 医師・看護師確保対策室

室長 園田（内線 3190）、室長補佐 永田（内線 3195）

宿泊療養施設（東横 INN 奈良新大宮駅前）における療養者情報の データ誤送信の事案発生について

県が運営しているコロナ感染症軽症者のための宿泊療養施設（東横 INN 奈良新大宮駅前）において、12月23日時点で入所されている方の氏名・性別・年齢等が含まれた電子ファイルを第三者に誤送信するという事故が発生しました。対象者の皆さまにご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。また、本件事故を深く反省し、再発防止に努めてまいります。

1. 事故の概要

12月23日午後9時ごろに、当該施設で勤務する看護師（民間から派遣）が、翌日のパソコン機器の入れ替えに備えて、パソコン内のデータを一時的に退避させるため、インターネットを経由して別のモバイル端末にデータを保存しようとしたところ、誤ったアドレスに送信したものです。

データに含まれている個人情報には、氏名・性別・発症日・入所日・退所日のほか、一部の方については、既往症名等が含まれています。

2. 対応状況

誤送信のエラーメッセージが送信されなかったため、12月24日午前10時頃に、誤送信先にメールにてお詫びと削除の依頼を行いました。反応がないため、プロバイダーに現在確認中です。

県が情報漏洩した療養者71名に対しましては、ただちに事実の報告及び謝罪を行っております。

3. 今後の対応

インターネットを経由したデータの保存を禁止するとともに個人情報を含むファイルについてパスワード設定を徹底します。あらためて、施設内で研修を実施し、個人情報の厳重かつ適正な管理及び取り扱いを徹底し、再発防止に努めてまいります。